

予算審査特別委員会審査報告

平成30年度各会計予算関係議案、8議案を審査するため、定例会第3日目に予算審査特別委員会が設置されました。

宍倉弘康委員長、市川陽子副委員長が選任され、議長を除く全議員で委員会を構成し、3月6日と7日の2日間開催されました。

市長、関係部長等から説明があり、慎重に審査が行われました。

審議結果

議案第32号、議案第33号、議案第34号、議案第35号、議案第36号、議案第37号、議案第38号、議案第39号
(原案可決)



本会議で審査報告をする宍倉委員長

特別委員会質疑要約

●総務部所管部分

問 成田空港周辺対策交付金が、前年度比で680万円の減となっているが、理由は何か。

答 昨年度は、蓮沼交流センター内の公民館建設に係る補助金が交付されましたが、蓮沼交流センターの建設が終了したため、減額となったものです。

問 結婚新生活支援事業の内容はどうか。

答 平成30年度は、夫婦ともに、婚姻日における年齢が34歳以下で、世帯の所得が340万円未満である新婚世帯に対し、住居費と引越しに係る費用を、30万円を限度として補助します。



予算審査特別委員会の様子(総務部等)

●市民部所管部分

問 区、自治会が防犯カメラを設置する際の、助成額はいくらか。

答 1台につき20万円を限度として補助します。事業費については、2分の1を県の補助金で対応します。



問 防犯灯のLED化を進めているが、事業が完了するのはいつ頃か。

答 平成31年度中の、防犯灯LED化率100%を目指し、事業を推進していきます。

●保健福祉部所管部分

問 学童保育の事業内容はどうか。

答 13ある小学校校区単位で、実施されています。対象は、小学校全学年で、現在426名の児童が、利用しています。



問 子どもの学習支援事業の内容はどうか。

答 小学生と中学生を対象に、夏休み期間や、放課後に学習支援を予定しています。委託先としては、学校職員のOB等で構成される、NPO法人教育サポートG.A.にお願いする予定です。

●都市建設部所管部分

問 市民が、空き家の活用を希望する場合、市で相談に乗ってもらえるのか。

答 空き屋の所有者の意向を確認した上で、双方の意見を聞きながら対応していきます。

問 成東駅ロータリーについて、朝・夕は待機する車で混雑している状況だが、待機場所を増やす予定はあるか。

答 市で所有している用地に余分がないため、現在は待機場所を増やす予定はありません。

●教育部所管部分

問 青少年スリランカ派遣事業について、オリンピック終了後も、事業を継続するのか。

答 子どもたちに非常に大きな影響を与えており、市のレガシーとも考えられる事業のため、オリンピック以降も、継続できればと考えています。

●経済環境部所管部分

問 不法投棄の推移はどうか。

答 不法投棄監視員から寄せられた情報では、不法投棄の件数は、平成26年度、148件、平成27年度、125件、平成28年度、123件、平成29年度2月末現在で111件です。



予算審査特別委員会の様子(教育部)

問 有害鳥獣駆除について、イノシシの捕獲件数の推移はどうか。

答 平成28年度、10頭、平成29年度、20頭です。

